



No. 367

令和6年3月号

茂原市教育委員会
茂原市青少年指導センター
〒297-0037
茂原市早野17-1
相談電話 0475-22-0080
一般電話 0475-22-4466
F A X 0475-22-0080



桜のつぼみもふくらみ、春のあたたかさを感じる季節となりました。春は出会いと別れの季節であり、いろいろな人に感謝の気持ちを伝える季節でもあります。みなさんは感謝の気持ちを伝えるために使われている「ありがとう」という言葉の語源を知っていますか。

「ありがとう」は「有り難し」という言葉からきています。「有る」ことが「難しい」と書き、元々は文字のとおり「めったにないこと」という意味で、今では貴重なものや出来事に対して、感謝の気持ちを表す言葉として使われるようになりました。

例えば、家庭においては、家族が自分のために毎日美味しいご飯を作ってくれていること。みなさんが元気で過ごせるように栄養バランスのとれた献立を考え、食材を買って、「美味しい」と言ってもらえるようなご飯を毎日作ることは簡単ではありません。また、みなさんの登下校時の安全を見守ってくれている地域の方々。夏の暑い日や冬の寒い日でも、毎朝早い時間から通学路に立ってくれていることは大変なことだと思います。他にも日常生活のいろいろなところで、私たちがあまり気付かないような「有り難いこと」を当たり前だと感じてしまっていることがたくさんあるのではないのでしょうか。

「ありがとう」という言葉の他にも、「ごちそうさま」や「お世話になりました」のように感謝の気持ちを表す言葉はたくさんあります。感謝の言葉は人間関係を築いていく上で大切なものだと言えます。常に感謝の気持ちを持ち、相手に伝えることで、人生が大きく変わることもあります。学校では卒業式や修了式など、1年間の節目の時期となります。お世話になった先生方や友だちはもちろんですが、ぜひ家族や地域の方などの自分自身に関わる人たちへの感謝の気持ちを言葉にして伝えてみてください。



「人と人の間に絆を築くことができる唯一のがあります。それは感謝です」シャルル・ド・モンテスキュー

青パト通信

～ 安心・安全をめざして ～

青少年指導センターでは、朝の登校時や夕方の下校時にパトロールを実施し、みなさんの安全を見守ってきました。自転車の乗り方や地域での過ごし方について声をかけさせていただく機会がありましたが、みなさんの明るいあいさつや笑顔から元気をもらうことがたくさんあり、とても感謝しています。また、みなさんが大きな事件・事故なく日常生活を送ることができ、安心して、センター職員はこれからもみなさんの活躍を応援しています。





『あなたをささえます』

【一生を笑顔で暮らせる願いを込めて・・・】



◎茂原市青少年補導員連絡協議会とともに市内の環境美化活動を実施しました。



市内をパトロールしていると、茂原駅周辺の子どもたちが集う公園では、たばこの吸い殻やお菓子のごみ、お酒・ジュースの空き缶が多数捨てられていました。茂原市青少年補導員の方と青少年指導センター職員が協力してごみ拾いを行いました。茂原市をより良い街にするために公園などの地域の環境美化にご協力ください。

青少年の補導・相談状況 不審者情報

令和6年1月22日～令和6年2月22日までを掲載

◀補導状況▶ 16件

自転車の乗り方について		その他	
並進	ヘルメット	帰宅指導	怠学
11	1	2	2

◀相談状況▶ 4件

迷惑行為	その他
3	1



◀不審者情報▶ 2件

月/日	時間	場所	概要	その他
2/9	14:50	高師 町保橋付近の道路	児童が下校中に、自転車に乗った男性にスマートフォンを向けられた。「ハロー、ハロー」と言っていた。追いかけてくることはなかった。	30代男性 身長160cmくらい 黒色の帽子、サングラス 上下白色の服
2/20	15:40	小林	自転車で下校中、外国人4人がおり、通過しようとした際に、スマートフォンで写真（動画）を撮られた。	アジア系の外国人 (男性3名、女性1名) 日本語ではない言語

◎これまでの不審者情報については、茂原市HP「わが街ガイド」に掲載しています。二次元コードを読み込むと、わが街ガイドのサイトにアクセスすることができます。



☆ モバリん相談 ☆

悩んだら 悩み始めたら 話してスッキリ ひとりで悩まないで！
家庭生活 学校生活 いじめ 不登校 非行 何でも相談してください。

茂原市青少年指導センター モバリん相談窓口

○電話相談 0475-22-0080
(平日9時～16時30分)

○メール相談
seishonen@city.mobara.chiba.jp



茂原市マスコットキャラクター
モバリん